

増水一代水増し

山形市議ら7人書類送検へ

県警、業者 現金詐取の疑い

山形市議選で、市議らに書類送検する方針を固めた。送検するのは、元市議で今年四月の統一選でくから替えた横山善道県議(左)と男性市議六人の計七人のほか、市議らから印刷を請け負った業者数人。近々岐阜地検へ送検する。市議ら七人をだまし取った疑いが持たれている。七人の中には、名刺や制作費のほかに水増し請求し、業者から選流させていた市議もいた。同市議選には二十七人から数万円から十数万円

が立候補し、うち二十五人が選挙公営に基づき、ポスター代を市に請求。県警は数人が水増し請求したとみて、先月から任意で事情聴取して

7.11
山形

市議会議長が辞職願提出

市議選で公費負担され、求したとされる詐欺容疑のポスター代を水増し請求したとされる詐欺容疑の村

橋安治議長(左)が十日、副議長あてに議長の辞職願を提出した。村橋議長は水増し請求との関連について言及を避けたが、これ以上議会を混乱させざることはできないと

山形市議長が辞職願

選挙ポスター費「議会混乱の責任」水増し疑惑

岐阜県山形市議選の選感で県警から事情聴取をと考えた。今後の見通し聞き、議長辞任について審議する。

選挙ポスター費水増し請求を受けてきたが、これまで市議五人と、元市議の原議一人が水増し請求の事実を認めて謝罪しても、自らの疑惑については一



この時期の辞職願について村橋氏は「(六月定例会の)開会中は議長の責任を果たすのが使命だ

切語らなかった。

村橋氏は水増し請求疑

名古屋市長選も58万円

ポスター代 水増し請求 山県の疑惑後返還

4月の名古屋市長選で、市選管は3月、名古屋市長選の印刷会社と、36枚のポスターを78万9800円で製作する契約を締結。選挙後、この契約書と、同じ金額が記載された印刷会社の請求書を市選管に提出した。しかし、実際に作製したのは300枚で、費用も20万7900円だった。

市選管によると、富田

市選管によると、富田

8800円で製作する契約を締結。選挙後、この契約書と、同じ金額が記載された印刷会社の請求書を市選管に提出した。しかし、実際に作製したのは300枚で、費用も20万7900円だった。

富田市長選は「ポスターの刷り直しなど不測の事態を考慮し、多めに発注」

市は条例で、掲示場の設置数に応じて選挙区ごとにポスターの作製枚数と単価の上限をそれぞれ設定。名東区の場合、上限は364枚、78万9800円(単価21700円)で、富田市長選は上限満額を請求していた。

選挙ポスター代を巡っては、4月の愛知県議選で松川浩明県議(43)＝白民、同市北区選挙区＝も約10万円を水増し請求していた。

【式守克史】

豊橋で住民監査請求

「市議選で152万円水増し」

4月に行われた豊橋市議選で、市が公費負担した候補者のポスター製作費を水増し請求したとして、豊橋市民オンブスマンは10日、候補者26人に対して総額約152万円を市へ返還するよう求め、住民監査請求をした。

同オンブスマンによると、計53人の候補者が市選管に提出した書類を調べたところ、21人がポスターの発送代や印刷会社

【宮里良武】

室内用ポスター代 松川氏水増し請求

愛知県議選

4月の統一地方選で行われた愛知県議選で、松川浩明県議(43)＝自民、名古屋市長選(北区)の陣営が選挙公営制度では認められていない、室内掲示用のポスター製作費10万8000円を県に請求していたことが分かった。

松川氏によると、松川県議は、名古屋市長選の印刷会社に、掲示板に張るポスター400枚と室内掲示用のポスター300枚の製作を発注。印刷会社は松川県議の事務所を通じ、両方の製作費計34万8600円を県に請求した。岐阜県山県市議選で、水増し請求が発覚後、松川県議側が県選管に修正を申し出、6月21日に選挙運動費用収支報告書も訂正した。松川県

7.7 読

選挙ポスター

テープ代請求「違法」

豊橋オンプズ、監査請求へ

四月に行われた統一地方選の愛知県豊橋市議選のポスターの公費負担請求に絡み、候補者七人が

7.10 中A

掲示板に張るための両面テープや粘着テープ代を含めたのは違法として、豊橋市民オンプズマンが十日、計約二十六万円を候補者に請求するよう同市に求める住民監査請求書を市監査委員に提出する。

豊橋市選挙管理委員会の候補者向けの「選挙公営の手引」では、ポスター撮影費など費用の明細を市選管に提出するよう求めており、問題となつた七候補のうち六候補は両面テープについて材料費や、ポスターの裏側に張り付けた加工費として計上していた。一方で、白費購入した候補者もいた。同オンプズマン代表の寺本泰之市議(公)は「両面テープは付属品で印刷物のポスターとは別物。違法な支出だ」と主張。市選管は「掲示板に張られるまでを想定しており、問題ないと考えている」としている。

また、オンプズマン側は他にも「市場価格より高い価格で紙代を請求した」などとして候補者十九人に計約百万円を返還するよう監査請求する。

7.10 中A

ポスター代で住民監査請求

4月の豊橋市議選

4月の愛知県豊橋市議選のポスター代の公費負担をめぐる、市民団体「豊橋市民オンプズマン」(代表・寺本泰之市議)ら457人が10日、ポスター製作に際しての両面テープ代や、市場価格より高い紙やインク代について市は候補者に返還を求めるよう、市監査委員に住民監査請求した。

請求では、両面テープや営業費をポスター製作に盛り込んだ候補者21人分106万円と、紙やインク代が市場価格より高い候補者5人分39万円の計145万円について不当な支出だと指摘。消費税を含めた約152万円の返還を求めている。

寺本市議は「両面テープ代は、付属品であってポスター製作費の対象とはならない。住民監査請求によって、ポスター作製の適正価格をはっきりさせたい」と話した。